

開催報告

大学院で 変える 自分と キャリア

CHALLENGE YOURSELF TO CHANGE
START YOUR FUTURE CAREER

RITSUMEIKAN
GRADUATE SCHOOL WEEK 2019

学部生向け企画 「大学院」に関わる企画が盛りだくさん

大学院ウィーク

11/11[mon]-11/24[sun]



本学では、2019年11月11日(月)～24日(日)まで「大学院ウィーク」を開催し、大学院進学に興味がある方、就職と迷っている方など多数の方にご参加いただきました。その中の企画をいくつかご紹介します。





テクノロジー・マネジメント研究科 企画 11月21日(木)

「MOT 研究科ってどんなところ？」 ※MOT:Management of Technology(技術経営)の略語



テクノロジー・マネジメント研究科(以下、MOT といいます)の現役院生が、研究科の学習環境や研究活動の内容、MOT 独自の実習「プラクティカム」の参加報告などを行いました。説明では特に、MOT では、技術開発を研究するのではなく、技術開発によって創出したイノベーションの収益化やビジネスモデルの創出など、技術を基盤とした経営戦略を研究する研究科であるということを強調していました。現役院生は文系学部・理系学部出身のどちらも参加しており、文理融合型の研究科ならではの多様性を垣間見ることができました。

現役院生からの説明後は、質疑応答が活発におこなわれ、参加者は MOT について理解が深められたようでした。



政策科学研究科 企画 11月21日(木)

「リサーチプロジェクト(大学院合同ゼミ)の見学会」

政策科学研究科では、専門の異なる複数教員と院生とがチームを組んで共同研究を行う「リサーチ・プロジェクト」という授業が研究指導の中心となっています。

11/21 は「地域経営と公共政策」、「グローバル化する多面的福祉・経済社会」など、複数の「リサーチ・プロジェクト」の見学会があり、現役院生による「リサーチ・プロジェクト」の研究活動と調査報告の紹介がありました。政策科学研究科の大学院生には、様々な専門性を持つ院生が多く、社会人学生も多いため、授業では専門の異なる多様な視点で積極的な意見交換がなされていました。また、研究フィールドを海外に置く学生や様々な国からの留学生も多いため、グローバルな視点で意見交換ができる点も、「リサーチ・プロジェクト」の醍醐味です。さらに、過去研究から理論を収集・蓄積していくことと、そこから自分の論理を、独自性をもって展開していくことが大学院での学びの特徴であることを感じました。参加者にとって、本見学会は、政策科学研究科での学びについて理解を深めるとともに、将来的な研究手法や論文作成のイメージに繋がるヒントをつかんでいただけたような機会となったことでしょう。



「地域経営と公共政策」の研究活動報告は[こちら](#)からご覧いただけます。



法学研究科 企画 11月21日(木)

「大学院修了後のキャリアを知る④『税理士として働く魅力』」

法学部の授業において、近畿青年税理士連盟京都支部に所属されている若手税理士 6 名による、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、税理士を目指したきっかけや税理士の魅力、税理士になるためのルートなどの説明がありました。また、そのルートの 1 つとして大学院進学があり、大学院進学により税理士試験の一部試験科目が免除となるため、最短ルートで税理士となり、早く実務に携わることができる旨の説明もありました。

参加した学生は真剣にお話を聞いており、将来進む道を考える良いきっかけになったことでしょう。



スポーツ健康科学研究科 企画 11月21日(木) 「キャリアを拓く大学院」



スポーツ健康科学部 3 回生向けの授業で、将来のキャリアを考える企画として、博士課程前期課程・博士課程後期課程を修了した OB・OG4 名に登壇いただき、大学院や就職活動、就職後の経験をお話いただきました。

登壇者は研究者、教員、民間企業の社員と分野が異なる方でしたが、共通して、科学的根拠に基づいた専門知識や、仕事で必要とされるアウトプットの方法、プレゼンテーション能力などを大学院で学べたことがよかったとお話されていました。また、積極的に学会発表をおこなっていたことや、学会奨学金など立命館大学の奨学

金・研究助成制度を活用していたとの説明もありました。

参加した学生は先輩の話真剣に聞いており、卒業後の進路の 1 つとして大学院があることや、就職するうえで役立ったこと、就職後のイメージなどを知ることができたようでした。



社会学研究科 企画 11月22日(金) 公開セミナー「社会学研究科での研究の魅力」(3)

産業社会学部(社会学研究科兼務)の樋口耕一准教授により、樋口先生の研究や大学院の魅力を紹介いただきました。

研究紹介では、KH Coder という分析ツールを開発されたことや共同研究について紹介があり、計量テキスト分析などいくつかの分析手法を使い分けて調査を進めて結論を導き出す流れをお話いただきました。

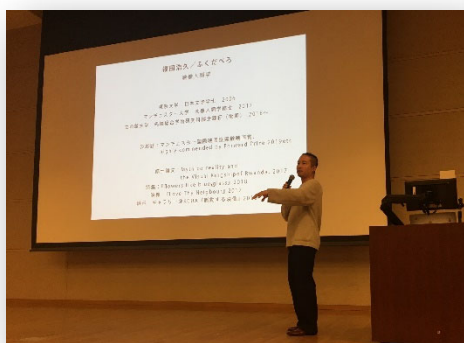
大学院紹介では、答えがない重要な問いを追求することに情熱を燃やすことができる点が魅力としてありつつ、研究成果がすぐに評価されるとは限らず、大学院修了後も研究を継続するには情熱や信念を持ち続けることが重要であるため、情熱をもって取り組める問いを持つ方にぜひ入学して欲しいとおっしゃっていました。

本セミナーは昼休みに気軽に参加できる形で開催しており、授業終わりに学部生が立ち寄り聞き入っていました。



リサーチオフィス 企画 11月5日(火) ライスボールセミナー「社会学研究科での研究の魅力」(3)

先端総合学術研究科に在籍する福田 浩久(ふくだへろ)さんより、「映像人類学について—アートと人類学の交差する領域—」というテーマで研究発表がありました。まず、映像人類学では、従来の紙やペンを用いた論理的思考から、カメラや録音機などを用いた論理的思考をおこなうことの説明があり、その後、カメラを触媒として、



同じ空間の中にいながら異なる場所を形成している方たちを撮影や編集などを用いつつ映し出した、人類学の要素を含めたという福田さんが制作した映像を見せていただきました。

会場はほぼ満員で、質問も飛び交い、30分とは思えないほど密度の濃い時間を過ごすことができました。



大学院進学説明会

11月4日(月・祝)OIC、11月11日(月)BKC、11月24日(日)衣笠、12月9日(月)衣笠

研究科合同で進学説明会を開催し、300名を超える方に参加いただきました。衣笠・OICで行われた全体説明会では、大学院の概要や特徴、学費・奨学金、キャリア支援等の紹介がありました。研究科別の相談会では研究指導体制、カリキュラム、入試等について研究科の教職員から説明があり、直接大学院生と相談できる研究科もありました。

2019年度秋季 立命館大学

大学院

Graduate school

進学説明会

大学進学が
未来を変える！

申込・参加費
不要！

教職員・現役院生が
リアルな立命館大学大学院について語ります。
「大学院進学の魅力とは？」
「大学院の入試や奨学金って？」
「どんな研究ができる？」
「就職は大丈夫？」などなど、あなたの疑問に答えます！
お気軽にご参加ください。

入試要項配布
過去問題
閲覧可
個別相談可

11/4 Mon 17:20 start [OIC]A棟3階	11/11 Mon 12:15 start [BKC]ユニオンホール	11/24 Sun 12:00 start [衣笠]敬学館	12/9 Mon 16:30 start [衣笠]敬学館
---	---	--	---



大学院ウィーク×立命館生協 食堂コラボメニュー

11月4日(月・祝)OIC、11月11日(月)BKC、11月24日(日)衣笠、12月9日(月)衣笠

大学院や大学院ウィークをより多くの方に知っていただくために、「大学院」に関するメニューを各キャンパスの食堂にて提供しました。本学の現役大学院生である大学院キャリアパス支援スタッフ(CPS)が考案したメニューです！



チキンハニーマスタード



オール院 OIN カレー



大学院タルト